



児童自ら学びを深める算数科授業の創造～一斉授業を軸とした協働的な学びや個別(最適)な学びの取組を通して～

「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く

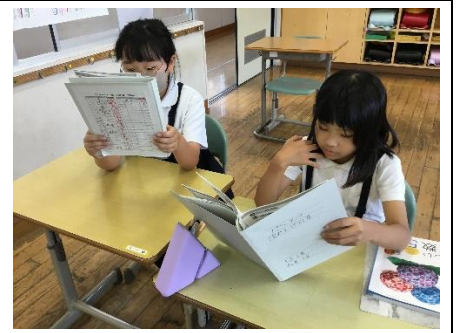
研修だより

令和8年6月24日
世羅町立せらひがし小学校
No.7

令和8年度 せらひがし小授業モデル

令和7年度3学期から令和8年度1学期にかけて先生方に取り組んでいただいたことを「せらひがし小授業モデル」として整理します。

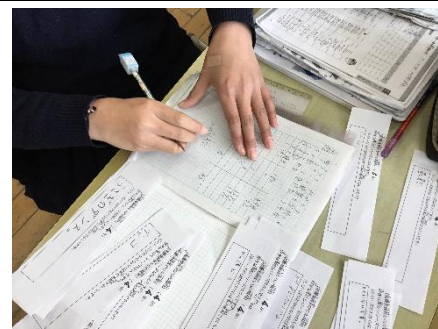
① パワーアップ読み上げ計算ワークシート(単元につながる既習事項を復習する)



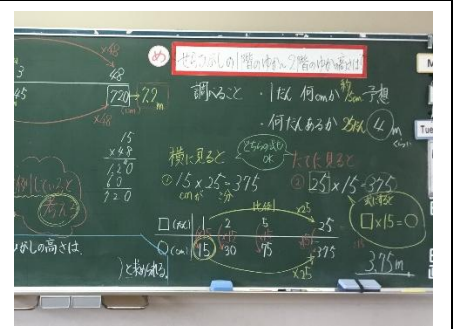
① 問題提示



1年「大きい数」
おはじきゲームの得点を数えよう。



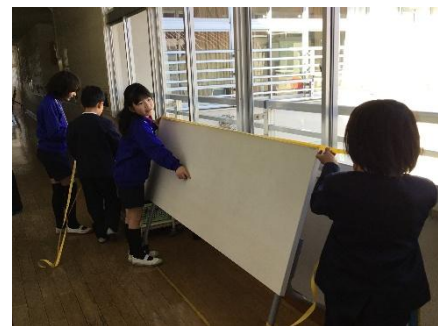
5年「割合」
委員会ごとに全校アンケートを取り、集計結果を分析しよう。



5年「比例」
せらひがし小の1階の床から2階の床の高さは何メートル？



6年「データの活用」
6年生の1週間の学習時間を分析しよう。


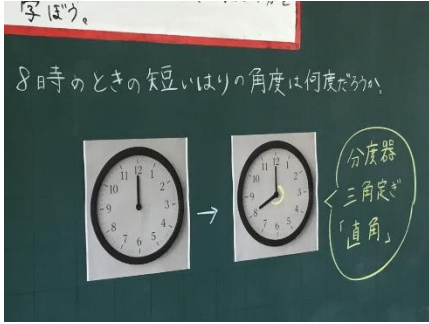
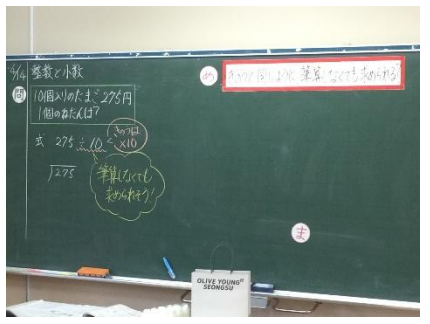


2年「長さ」
せらひがし小学校にあるものの長さを調べよう。

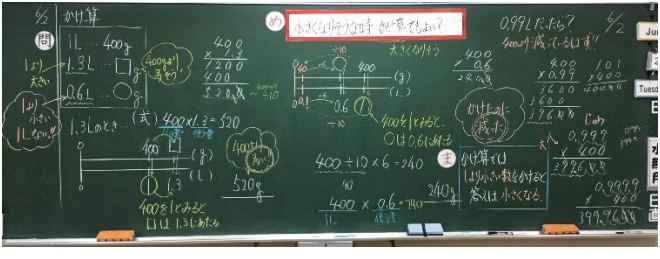
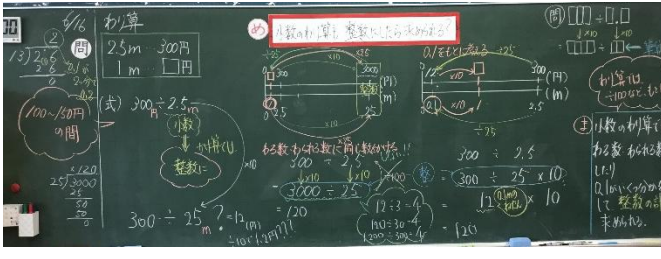


3年「あまりのあるわり算」
学習発表会の合唱台に同じ人数ずつ立つとき、台はいくつ必要？


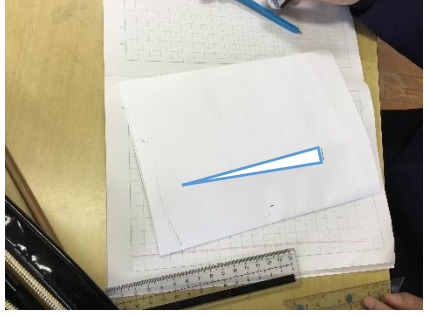

②児童の困り感や課題を共有

		
<p>3年「わり算」 「前と今日のちがいは・・・」 児童自ら前時との違いに気付く。</p>	<p>4年「角の大きさ」 「180°より大きい!」という児童の気づきを共有する。</p>	<p>5年「小数と整数の性質」 「前は筆算をせずに10倍して考えた」という前時とのつながりを板書に残す。</p>

③めあての設定(児童の思考に沿った言葉で赤色のマグネットシートに書く)

	
<p>5年「小数のかけ算」 児童の気づき「かけ算って答えが大きくなりそう。」「式は合っていると思うけど、答えが小さくなりそうなのにかけ算で本当にいいのかな。」 めあて「答えが小さくなりそうな時、かけ算でもよい?」</p>	<p>5年「小数のわり算」 児童の気づき「小数のかけ算で小数を整数にして考えたことが使えそう!」 めあて「小数のわり算も整数にしたら求められる?」</p>

④個別の時間・協働の時間

		
<p>3年「三角形と角」 三角定規は正三角形かという自分の問いを持ち、線の長さを比べて確かめる。</p>	<p>3年「三角形と角」 極端に細い二等辺三角形でも二等辺三角形の性質が成り立っているかという問いを立て、自分で探究する。</p>	<p>個別の時間では、「誰と」考えるか自己決定する。 考える方法もノートやクロームブックなど選択できるようにする。</p>



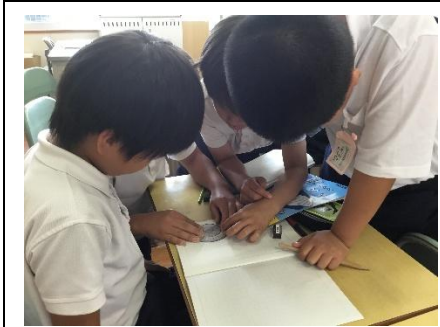
個別の時間で誰と考えるか決める際、発達段階に応じて教師がグループ決めにサポートする。



「前の時間はどうだったかな？」と自分で必要な既習事項を選び出している。



友達の見解を聞いて、よいと思ったことを自分の意見に書き加えている。



困っている友達を納得させるために、いろいろな考え方で説明している。

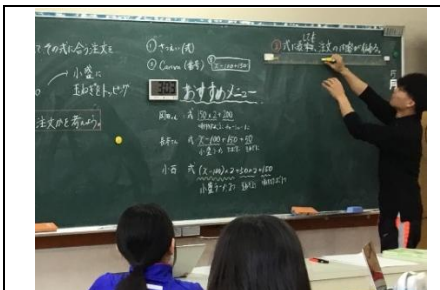


ICT を活用し、実際におはじきを操作しながら理解を深める。

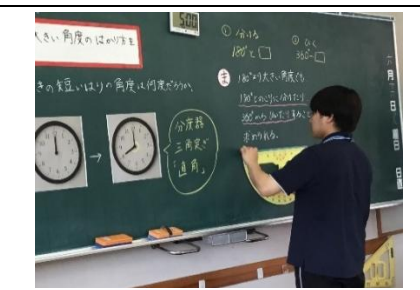


クラウドブックの電卓を使い、自分が作った問題の答えが本当に合っているか確かめる。

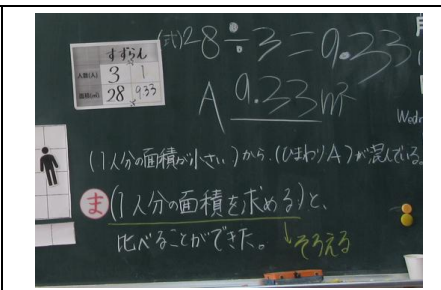
⑤まとめ(青色で囲む)



6年「文字と式」
児童のつぶやき『式に表すと』ではなく『式に表しても』が良いを採用する。

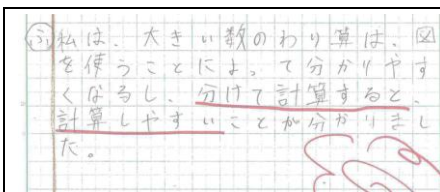


4年「角の大きさ」
児童の「工夫したらできる」という発言に対して「どんな工夫？」と切り返し発問をする。



ひまわり日
5年「単位量あたりの大きさ」
文のおおまかな型を示すことで、児童が自由にまとめを考えやすくなる。

⑥ふりかえり



数学的見方・考え方をを使って求めることの良さについて言語化できている。

- 児童の気づきや発見をキーワードとして板書に残すこと
- 前時と本時の違いや児童の困り感からめあてを設定すること
- 児童の言葉でまとめること

引き続き、各学年で取り組んでいきましょう！